

それぞれの新学期

ミアソン新入生とシェリルその後

フィリピンは4、5月が夏休みで、6月に新学期が始まります。3月、12名の卒業生を送り出したミアソン寮には、12名の新1年生が入ってきました。ハイスクール1年は日本では中1です。貧しかったり学校が近くにないため小学校卒業が遅れた18歳2名、17、16、15歳各1名、14歳3名を含みます。家に帰れるのは1ヶ月に1度だけで、みんなホームシックにかかるようです。

そんな寮生の母親代わりが寮母です。ミアソン寮は、昨年度のロウエンダがノビシエートのカレッジ生寮母に転任し、4年前に助産師コースを終了したビーナが赴任しました。

3月卒業したシェリルも寮に残って後輩の世話をしています。前号で看護コース入試挑戦中と紹介したシェリルですが、結果は不合格でした。CMIP訪問時に、このシェリルの救済を含めてカレッジ奨学生の条件を話し合いました。

前ディレクター・ファーディ神父の先住民族の子弟優先の方針は理解できるが、シェリルのように両親のどちらかが非先住民族でも、貧困、好成绩の条件にあえば奨学生全体の20%を限度に受け入れようという暫定的なルールを決めました。

シェリルは今、寮で家庭教師役を務めながら、9月実施のMSU一次試験に向けて準備中です。



左から、シェリル、補習を受けて5月にMSU合格が決まったアナリン、マリベル、マリナ(他マリセル、アルマンド含む全5名合格)、ノビシエート寮母ロウエンダ

レイクセブで学ぶあしなが奨学生3名



左:クリスティナ、右:ルナ
(1年生)



エディ(2年生)

サウスコタバト州レイクセブ町にあるサンタクルスミッション学校法人(SCMSI)カレッジは、レイクセブ及び近隣の先住民族コミュニティのリーダー育成を目指す単科(地域開発学部)大学です。20年余りの歴史の中で多くの教師や農業指導者が育ちました。

<エディ>前号で紹介のように今年2年生。

<クリスティナ>ブラクールから16km離れたトゥラテ村の出身。親類宅に寄留して通ったブラクール校を今年卒業。第1志望だったコロナダルの助産師コースは不合格で、医療衛生の基礎知識を学べるSCMカレッジに決めました。

<ルナ>2年前ブラクール校を卒業。イスラン町の小さなマーケットで働き家計を助けていましたが、専門知識を学んでブラクールのために働きたいとあしなが奨学生に応募しました。

今年のあしなが支援会員は8名(9口)です。キングスカレッジ4年のロデルを含めて4名の学生を支えています。

なお、前号でカレッジ卒業を報告したマイラは、ブラクール校補助教員として採用される予定です。

<2006年度CMIP小学生(奨学生53名)概況>

6年生:13名卒業。退学 結婚2名、転居1名
1-5年生:33名進級。留年1名、退学 転居3名
ご支援ありがとうございました!

<CMIP新入生14名のリストが届きました>

新たに小学生を支援いただける方募集中です!

<ブラクール小学校6月末の登録数は101名>

里子報告は8月末にお届けの予定です